

## 論文審査の要旨

報告番号	乙 第 2947 号	氏 名	柳澤 志満子
論文審査担当者	主査 稲垣 克記 副査 内田 直樹 副査 小野 賢二郎		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>脳卒中痙性片麻痺患者にボツリヌス療法 (BoNT-A) を行い、痙縮の改善や痙性歩行の変化について、シート式足圧接地足跡計測装置を用いて客観的に評価した。麻痺側下肢痙縮筋 (腓腹筋・ヒラメ筋・後脛骨筋) に合計 200~300 単位の BoNT-A 製剤を施注した後、歩行速度を計測し、立脚期・遊脚期・二重支持期の時間を測定した。速度低下群では患側の立脚期が増加、遊離期が減少、二重支持期が増加し、速度上昇群では患側の立脚期が減少、遊離期が増加、二重支持期が減少し、逆の結果となった。このことから、速度低下群は痙縮依存の歩行のため、BoNT-A による急激な痙縮減弱により患肢支持が不十分になったこと、速度上昇群では痙縮減弱により立脚期の患肢足関節の動きが円滑となり、二重支持期が減少し速度が上昇したと考察した。BoNT-A 施注後に歩行の客観的評価を行なう事で問題点が明確化し、今後のリハビリテーションの方法の基礎になる研究であると思われた。</p> <p>以上のように本論文は新しい知見を得ており、学術上価値のあるものと考えられた。</p>			
論文題名 :			
ボツリヌス療法 (BoNT-A) の脳卒中痙性片麻痺歩行に及ぼす効果について			
掲載雑誌名 :			
昭和学士会雑誌, 2016 年 掲載予定			

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for the user to write their main text, which should be limited to 500 characters.

(主査が記載、500字以内)